

緊急事態！区内交通事故多発！ 今年すでに死亡事故6件！交通ルールの再確認を！



昨年の区内交通事故発生件数は1,038件で、死傷者数は1,166人(死者1人)でした。今年はすでに交通事故で6人の方が亡くなっており、見過ごすことのできない事態となっています。

交通事故を起こさない、巻き込まれないためにも交通ルールを必ず守りましょう。

☎ 交通対策課交通係 ☎3647-4784、FAX3647-9287

▲スタントマンによる交通事故再現の様子

《渡らない!! 横断禁止場所》

区内死亡事故例：横断禁止場所を横断中の歩行者と青信号で進行中のバイクが衝突し、歩行者が死亡

横断禁止場所は車やバイクが来ないと思っても横断してはいけません。「自分は大丈夫」と過信せず、横断歩道等の安全な場所を横断しましょう。

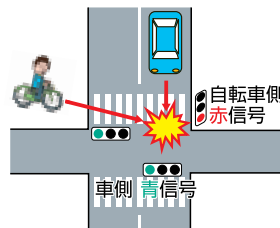


▶「歩行者横断禁止」の標識を守りましょう

《絶対!! 信号を守る!》

区内死亡事故例：青信号で発車した車と赤信号で車の前方を横切る自転車と衝突し、自転車運転者が死亡

「車や人は来ないだろう」という思い込みが大きな事故につながります。慣れている場所でも必ず信号を守りましょう。



《気をつけて!! バイク運転》

二輪車乗用者が死亡する事故が今年すでに3件も発生しています

○通勤などで日常的に二輪車に乗る方は、時間にゆとりを持ち、走り慣れた道でも十分に注意しましょう。

○ヘルメットを正しくかぶり、あご紐をしっかり締めるとともに胸部、腹部を守るプロテクターを着用して身体を守りましょう。

○重大事故の原因となる速度超過、無理な追い越し、割り込みは絶対にやめましょう。

車を運転する時は

「無理しない! 急がない! 油断しない!」で安全運転

区内死亡事故6件中5件に自動車関わっています。運転するときは安全運転の意識を忘れず、思いやりのある運転を心がけましょう。

◎無理しない!

スピードを出し過ぎるなど、無謀な運転はやめましょう。また、体調がすぐれないときは運転を控えましょう。

◎急がない!

自分の目でしっかり安全確認。時間と気持ちにゆとりを持って運転しましょう。

◎油断しない!

危険を予測した運転を心がけましょう。「かもしれない」の気持ちを忘れずに。

考えよう! 免許返納

年齢を重ねると、個人差はあるものの身体機能が低下してしまいます。ベテランドライバーでも、以下の項目に1つでも当てはまる場合は運転免許の自主返納を考えましょう。

- ☐ いつも入れている車庫にうまく入れられない。
- ☐ 運転に自信がなくなった。
- ☐ 見えにくい、聞こえにくいと感ずることがある。
- ☐ 運転が心配と言われたことがある。

自主返納した方は、免許証と同じサイズで身分証明書として使える「運転経歴証明書」の交付を受けることができます。詳しくは警視庁のホームページ([HP](https://www.keishicho.metro.tokyo.jp) <https://www.keishicho.metro.tokyo.jp>)をご覧ください ☎ 深川警察署 ☎3641-0110、FAX3641-6250、城東警察署 ☎3699-0110、FAX3615-3570、東京湾岸警察署 ☎3570-0110、FAX3529-2402